



濱口竜介  
短編集



驚きと戸惑いの映画体験が、いま始まる――

# 偶然と想像

第一話「魔法(よりもっと不確か)」/ 第二話「扉は開けたままで」/ 第三話「もう一度」

*Wheel of Fortune and Fantasy*

監督・脚本: 濱口竜介

『ドライブ・マイ・カー』(監督) 『スパイの妻』(共同脚本)

古川琴音 中島歩 玄理 沢川清彦 森郁月 甲斐翔真 占部房子 河井青葉

プロデューサー: 高田聡 撮影: 飯岡幸子 監音: 鈴木昭彦 助監督: 高野徹 深田隆之 制作: 大英賢均 カラーリスト: 田巻源太 録音: 城野直樹 黄永晶 美術: 布部雅人 徐賢先 スタイリスト: 権井章訓 メイク: 須見有樹子  
 エグゼクティブプロデューサー: 原田将 徳山勝巳 製作: NEOPA fictive 配給: Incline 配給協力: コピアポア・フィルム 宣伝: FINOR メゾン 2021年/121分/日本/カラー/1.85:1/5.1ch ©2021 NEOPA / fictive

<https://guzen-sozo.incline.life/>

PG12  
 映 倫

世界は偶然に溢れている

「今年のベスト映画の中でも最良の1本にして、美しき人生賛歌」

— フィルム・ステージ

2021年のカンヌ映画祭では『ドライブ・マイ・カー』が脚本賞など4冠に輝き、2020年のベネチア国際映画祭では共同脚本を手がけた『スパイの妻』が銀獅子賞(監督賞)、そして本作が、ベルリン国際映画祭で銀熊賞(審査員グランプリ)を受賞するなど世界が最も注目する監督のひとりとなり、また日本映画の新しい時代をリードする存在となった濱口竜介。待望の新作は、「偶然」をテーマに3つの物語が織りなされる初の、そして自身が「このスタイルをライフワークとしたい」と語る「短編集」となった。

## 偶然 — それは、人生を大きく静かに揺り動かす

親友同士の他愛ない恋バナ、  
大学教授に教えを乞う生徒、  
20年ぶりに再会した女友達・・・

軽快な物語の始まり、日常の対話から一転、鳥肌が立つような緊張感とともに引き出される人間の本性、切り取られる人生の一瞬...日本映画の新時代を感じさせる映画体験が、観るものの心を捉えるだろう。

出演に、『街の上で』『花束みたいな恋をした』など話題作に出

演し圧倒的な存在感を放つ古川琴音を始め、中島歩、森郁月、甲斐翔真らフレッシュな顔ぶれが揃った。そして濱口組出演経験のある玄理、渋谷清彦、占部房子、河井青葉ら個性豊かな俳優陣が好演。小さな撮影体制でリハーサル・撮影時間を十分に確保し、彼らの繊細な表現を丁寧に映した。まるで劇中に流れるシューマンのピアノ曲集『子供の情景』のように軽やかかつ精緻で、遊び心に溢れた俳優の演技は必見だ。

今、こうしている瞬間にも  
偶然の引力で引き合わされている—  
あなたももう、この『運命』の中にいる。

第一話  
魔法  
(よりもっと不確か)



撮影場りのタクシーの中、モデルの芽衣子(古川琴音)は、仲の良いヘアメイクのつくみ(玄理)から、彼女が最近会った気になる男性(中島歩)との惚気話を聞かされる。つくみが先に下車したあと、ひとり車内に残った芽衣子が運転手に告げた行き先は一。

第二話  
扉は開けたままで



作家で大学教授の瀬川(渋谷清彦)は、出席日数の足りないゼミ生・佐々木(甲斐翔真)の単位取得を認めず、佐々木の就職内定は取り消しに。逆恨みをした彼は、同級生の奈緒(森郁月)に色仕掛けの共謀をもちかけ、瀬川にスキャンダルを起こさせようとする。

第三話  
もう一度



高校の同窓会に参加するため仙台へやってきた夏子(占部房子)は、仙台駅のエスカレーターであや(河井青葉)とすれ違う。お互いを見返し、あわてて駆け寄る夏子とあや。20年ぶりの再会に興奮を隠しきれず話し込むふたりの関係性に、やがて想像し得なかった変化が訪れる。

監督・脚本：濱口竜介 出演：第一話「魔法(よりもっと不確か)」/古川琴音 中島歩 玄理 第二話「扉は開けたままで」/渋谷清彦 森郁月 甲斐翔真 第三話「もう一度」/占部房子 河井青葉  
<https://guzen-sozo.incline.life/> FilmWFF ©2021 NEOPA/fictive

よりみちシネマ  
上映会  
Vol.2

日程\_3.21(土)  
会場\_彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール  
アクセス\_さいたま市中央区上峰3-15-1  
開映\_14:30 開場\_13:50  
料金\_1,500円

Ticket

